



学習指導要領(歴史分野)	教科書(帝国書院) の学習内容	総合展示室		見学のポイント	いわて文化史展示室		見学のポイント	
		資料名	内容		資料名	内容		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・金銅懸仏 1点</li> <li>・銅秋草双雀鏡 1点</li> <li>・銅菊華双雀鏡 1点</li> <li>・銅亀甲地双雀鏡 1点</li> <li>・鰐口 1点</li> <li>・鰐口 1点</li> <li>・まいりのほとけ(連座御影図) 1点</li> <li>イ 一遍上人絵伝</li> <li>・十一面観音坐像懸仏 1点</li> <li>・如意輪観音像 1点</li> <li>・西国三十三所巡札納札 1点</li> <li>・石塔婆 1点</li> <li>㊦ 九戸政実の乱</li> <li>ア 戦国大名の変遷</li> <li>・南部信直宛豊臣秀吉朱印状 1点</li> <li>イ 九戸城跡</li> <li>・「奥州南部九戸軍記 1点</li> <li>ウ 蒲生氏郷</li> <li>・鯉尾兜 1点</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実物 平安末期 紫波町新山神社</li> <li>実物 鎌倉時代 紫波町新山神社</li> <li>実物 鎌倉時代 紫波町新山神社</li> <li>実物 鎌倉時代 紫波町新山神社</li> <li>複製 鎌倉末期 一関市大東町興田神社原蔵</li> <li>複製 南北朝時代 二戸市浄法寺町天台寺原蔵</li> <li>複製 室町時代 花巻市東和町</li> <li>パネル(解説)</li> <li>複製 室町時代 陸前高田市黒崎神社原蔵</li> <li>複製 鎌倉末期 奥州市水沢区正法寺原蔵</li> <li>複製 室町時代 平泉町中尊寺原蔵</li> <li>実物 南北朝時代 一関市教育委員会蔵</li> <li>パネル(解説)</li> <li>パネル(図・年表)</li> <li>複製 安土桃山時代 もりおか歴史文化館原蔵</li> <li>パネル(解説・写真) 二戸市 国指定史跡</li> <li>写本 文久3年</li> <li>パネル(解説)</li> <li>実物 桃山時代(県指定)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不動三尊立像 1点</li> <li>・十一面観音立像 1点</li> <li>・千手観音坐像 1点</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実物 永正7年(1510)</li> <li>実物 江戸時代</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑩ 板碑</li> <li>・いわての古碑と石塔</li> <li>・最明寺石塔婆 2点</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パネル(解説)</li> <li>複製 建長8年(1256) 一関市川崎町</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>応仁の乱以降どのような風潮が広まったのか。現岩手県の戦国における群雄割拠の状態から、秀吉の統一事業によりどのように変化したのだろうか。</li> </ul>

学習指導要領(歴史分野)	教科書(帝国書院)の学習内容	総合展示室		見学のポイント	いわて文化史展示室		見学のポイント
		資料名	内容		資料名	内容	
学習指導要領(歴史分野)	教科書(帝国書院)の学習内容	総合展示室		見学のポイント	いわて文化史展示室		見学のポイント
		資料名	内容		資料名	内容	
(4) 近世の日本 ア 戦国の動乱、ヨーロッパ人來航の背景とその影響、織田(おた)・豊臣(とよとみ)による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などを通して、近世社会の基礎がつけられていったことを理解させる。  イ 江戸幕府の成立と大名統制、鎮国政策、身分制度の確立及び農村の様子、鎮国下の対外関係などを通して、江戸幕府の政治の特色を考えさせ、幕府と藩による支配が確立したことを理解させる。	<b>第4部 武家政権の展開と世界の動き</b> <b>第1章 大航海によって結びつく世界</b> 1 イスラムの拡大とヨーロッパの変化 2 大航海時代の幕あけ 3 東アジアの貿易と南蛮人  <b>第2章 戦乱から全国統一へ</b> 1 信長・秀吉による全国統一 2 秀吉が導いた近世社会 3 武将や豪商が担った文化  <b>第3章 武士による支配の完成</b> 1 幕藩体制の始まり 2 朱印船貿易から貿易統制へ 3 四つにしばられた貿易の窓口 4 琉球王国とアイヌの人々への支配  <b>第4章 天下泰平の世の中</b> 1 身分制社会での暮らし 2 新田開発と特産物の広がり 3 各地を結ぶ陸の道・海の道	<b>テーマ2 いわての歩み(歴史)</b>		<b>藩政時代の人々(近世)</b> (解説) ・天保国絵図 陸奥国南部 (地図・写真)国立公文書館原蔵(国重文) ・天保国絵図 陸奥国仙台 (地図・写真)国立公文書館原蔵(国重文) <b>⑩ 藩政の確立</b> ・徳川幕府県治要略(安藤博1915年より) 2点 ・浮田番所制札 1点 模造 文化元年(1804) 館蔵 <b>ア 広福寺と源勝寺の寺領</b> ・南部利直黒印状 1点 実物 元和2年(1616) ・南部利直黒印状 1点 実物 元和2年(1616) 盛岡市源勝寺原蔵 ・遺ス百性高書之事 1点 実物 元和2年(1616) ・四戸基之丞宛南部利直黒印状 1点 実物 寛永4年(1627) ・波々 伯部治郎兵衛宛南部直房領地宛行状 1点 実物 寛文6年(1666) ・代官所公印 2点 複製 江戸時代 もりおか歴史文化館原蔵 ・伊達亀千代(綱村)黒印状 1点 実物 寛文元年(1661) <b>イ 仙台藩の眞高制</b> ・境絵図 パネル (解説) ・パネル (写真) 元禄14年(1701) ・將軍徳川綱吉継目判物 1点 複製 貞享元年(1684) 仙台市博物館原蔵 ・一関藩一つ巴の馬印 1点 実物 ・検地模型 模型 ・検地門札 1点 実物 慶応2年(1866) 館蔵 ・磐井郡東山之内渡民村御検地帳(文政8年:1825) 1点 写本 寛永19年(1642) ・十手 1点 実物 江戸時代 ・大肝入使用米すくい 1点 実物 江戸時代 <b>ウ 宗門改帳</b> ・盛岡藩領下閉伊郡岩泉村の野田氏の知行地分の宗門改帳 1点 実物 元治2年(1865) 館蔵 ・仙台藩領の江刺郡黒石村の人数改帳 1点 実物 館蔵 ・踏絵 1点 実物 参考資料 江戸時代 ・十字形不動明王宝剣 1点 実物 江戸時代	<b>歴史</b> <b>⑩ 藩政時代の村</b> ・南伝法寺村小絵図式拾三枚之内へ印 1点 実物 元治元年(1864) ・野形絵図面 1点 複製 元治元年(1864) ・当宗門相改奉書上帳1点 複製 元治2年(1865) ・検地札 1点 複製 江戸時代 ・古屋敷御検地覚 1点 実物 享保15年(1730) 志和郡南伝法寺村へ印内割田畑屋敷地続順路番附書上帳 1点 実物 元治元年(1864) ・郷村御吟味御用中御入用諸品書上帳 1点 実物 元治元年(1866) ・志和郡小屋敷村吉水郷邸吟味御調御用中諸書上帳 1点 実物 元治元年(1864) ・志和郡小屋敷村吉水村書上絵図面縮図 1点 実物 元治元年(1866) ・志和郡小屋敷村絵図拾六枚之内た印 1点 複製 元治元年(1866) ・御毛見御立帳 1点 複製 元治元年(1866) ・志和郡打直御検地名寄御帳 1点 実物 元治元年(1864) ・年数分附覚帳 1点 実物 元治元年(1864) ・御検見高 1点 実物 天保4年(1833) ・当御年貢米老人限駄寄帳 1点 実物 天保11年(1840) ・当御年貢米割附帳 1点 複製 天保11年(1840) ・年貢皆済目録 1点 複製 弘化4年(1847) ・南伝法寺村年貢受取帳 1点 複製 嘉永6年(1853) ・当御年貢米并御買米俵組覚帳 1点 実物 安政4年(1857) <b>⑪ 江戸時代の貨幣</b> <b>ア 藩政時代の貨幣</b> ・皇朝十二銭(8C～) パネル (解説・写真) ・和同開珎 1点 複製 ・中国銭の使用(12C～) パネル (解説)	どのようにして全国を統一したのだろうか。  江戸幕府はどのような政策で各地の大名を支配したのだろうか。  身分制社会の中で、人々はそれぞれどのような生活をしていただろうか。  農村における地主と小作人の関係を考えてみよう。  貨幣を使う機会が増えたことより、農村や都市にはどのような変化があったのだろうか。	

学習指導要領(歴史分野)	教科書(帝国書院)の学習内容	総合展示室		見学のポイント	いわて文化史展示室		見学のポイント
		資料名	内容		資料名	内容	
ウ 産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりなどを通して、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解させる。	4 上方で栄えた町人の文化  第5章 社会の変化と幕府の対策 1 貨幣経済の広まり 2 繰り返される要求と改革 3 外国船の接近と幕府の衰退 4 新しい学問と教育の広まり	㊸ 凶作と一揆	パネル(年表・解説) 実物 明和7年(1770) パネル(写真) 大迫町 複製 安永6年(1777) 写本 明和8年(1771) パネル(写真) 文久7年(1810) 盛岡市東願寺 実物 参考資料 江戸時代 実物 弘化4年(1847) 複製 嘉永6年(1853) パネル(解説) 実物 盛岡市盛岡城跡 パネル(写真) 国立公文書館原蔵(国重文) 模型 250分の1 パネル(写真) 江戸中期 盛岡市永福寺蔵 パネル(絵) タッチパネル『増補行程図』から パネル(写真) 江戸後期 川井鶴亭画 パネル(解説) 複製 天保10年(1842) 実物 慶長15年(1610) パネル(図) 実物 実物 江戸後期 複製 文禄3年(1594) 実物 江戸時代 模型 玉山鉄山高殿復元(軽米町) 実物 岩泉町 複製 江戸時代 実物 江戸初期 実物 岩泉町 パネル(解説) 実物 一関市川崎町産	百姓の要求と藩の財政難に対して、藩はどのような対応をしたのだろうか。  武士・百姓・町人はそれぞれどのような身分か。また、城下町ではどのような住み分けが見られるか考えてみよう。  江戸時代の国内産業は、どのような背景の中で発達したのだろうか。	開元通宝(唐) 1点 実物 唐国通宝(南唐) 1点 実物 淳化元宝(北宋) 1点 実物 景祐元宝(北宋) 1点 実物 治平通宝(北宋) 1点 実物 元符通宝(北宋) 1点 実物 正隆元宝(金) 1点 実物 淳熙元宝(南宋) 1点 実物 慶元通宝(南宋) 1点 実物 紹定通宝(南宋) 1点 実物 至大通宝(元) 1点 実物 洪武通宝(明) 1点 実物 永楽通宝(明) 1点 実物 永楽通宝(日本鑄悪銭) 1点 実物 一両小判 3点 実物 享保大判 1点 実物 二分金 2点 実物 一分金 4点 実物 二朱金 8点 実物 文政角一朱金 1点 実物 丁銀 5点 実物 豆板銀 7点(享保1、元文2、文政1、天保2、安政1) 実物 一分銀 4点 実物 古南遼二朱銀 1点 実物 新南遼二朱銀 2点 実物 明和五匁銀 1点 実物 南遼一朱銀 1点 実物 一朱銀 16点 実物 古寛永一文銭 15点 実物 寛永通宝 6点 実物 寛永通宝四文銭(21波) 2点 実物 寛永通宝四文銭(11波) 2点 実物 文久永宝(四文通用)8点 実物 寛永通宝十文銭 2点 実物 天保通宝 3点 実物 金枡 1点 実物 道中財布 1点 実物	なぜ、農村でも貨幣を使う機会が増えたのか、その理由を考えてみよう。	
		㊹ 盛岡城と町づくり	盛岡城の瓦 1点 実物 盛岡城の釘かかし 3点 実物 正保盛岡城図 盛岡城復原模型 盛岡城古図 盛岡城と街割 盛岡城鳥瞰図 産金と製鉄 金沢御山大盛之図 1点 南部利直黒印状 1点 産金と製鉄「日本山海名物図会」(平瀬徹斎1754年より) 砂金 1点 実物 ユリ椀 1点 実物 金鉱石粉碎用の石臼 2点 実物 御本判(金山採掘鑑札) 1点 複製 砂金採取用具一式 4点(カッチャピ1、エンブ1、ユリ板1、ネコ1) 実物 たたら模型 江川鉄山製鉄炉地下断面 「どうや」の用具 9点 複製 鍛冶神掛図 1点 実物 延鉄 1点 実物 砂鉄 砂鉄 1点 実物	産金と製鉄「日本山海名物図会」(平瀬徹斎1754年より)			

学習指導要領(歴史分野)	教科書(帝国書院)の学習内容	総合展示室		見学のポイント	いわて文化史展示室		見学のポイント
		資料名	内容		資料名	内容	
		・マサ 1点	実物 野田村種綿産		・銭さし 1点	実物	紙幣が登場したのはなぜだろうか。  当時と現在の貨幣の発行される場所を比べ、その違いと理由を考えてみよう。
		・ドバ 1点	実物 洋野町金ヶ沢産		・藩役所の切手 3点	実物	
		・洋式高炉の原料	パネル(解説) (釜石市)		・私札 3点	実物	
		・餅鉄 3点	実物 釜石市鶴住居川採取		・人足札 5点	実物	
		・磁鉄鉱 1点	実物 釜石鉱山産		<b>イ 仙台湾の藩札</b>		
		・菊印の鉄 1点	実物 一関市藤沢町		・ねじり札 2点	実物	
		<b>イ 橋野高炉模型</b>	パネル(図) タッチパネル 安政5年(1858)～文久元年(1861)		・天明飢饉札 2点	実物	
		・両鉄鉱山御山内並高炉之図	パネル(図) 新日鉄釜石製鉄所蔵		・升屋札 1点	実物	
		・大橋鉄鉱山絵図 1点	パネル 江戸後期		・改正札銭札・錦布貼 2点	実物	
		<b>㊦ 南部と馬</b>	パネル(解説)		・両替所札 4点	実物	
		・馬面 1点	複製 時代不詳		<b>ウ 仙台湾の鑄銭</b>	実物	
		・南部と馬「江戸名所図会」(斎藤幸雄・幸孝・幸成1835年より)	パネル(図)		・寛永通宝四文銭(背千母銭) 1点	実物	
		・群馬図絵馬 1点	実物 享保16年(1731) 紫波町白山神社蔵	馬は、当時の人々 とどのような関係に あったのだろうか。	・寛永通宝(背仙銭) 2点	実物	
		・馬頭観世音菩薩 1点	実物 江戸時代		・仙台通宝母銭 1点	実物	
		・桑島流(馬医書) 1点	写本 安政6年 九戸村長興寺馬医者坂下氏写本		・仙台通宝鉄銭 3点	実物	
		・百馬之図 1点	写図 弘化4年(1847) 狩野永湖写図		・古寛永銭(仙台銭) 1点	実物	
		・後旧領名所図巻 1点	複製 江戸末期 もりおか歴史文化館原蔵		・寛永通宝(背千母銭)1点	実物	
		<b>㊧ 街道と舟運</b>	パネル(解説)		・寛永通宝(背千鉄銭)2点	実物	
		・さいふ 1点	実物 江戸時代		・仙台小槌銀 1点	実物	
		・矢立 1点	実物 江戸時代		<b>エ 盛岡藩の藩札</b>	実物	
		・旅行用折りたたみ携帯枕 1点	実物 江戸時代		・弘化二年・銭札 2点	実物	
		・往来手形 1点	実物 文政4年(1821)	江戸時代のおもな 陸の道と海の道を 調べてみよう。	・弘化四年・盛岡通用銭札 3点	実物	
		・道中日記 1点	実物 文化15年(1818)		・盛岡藩札 9点	実物	
		<b>ア 運輸のいろいろ</b>	パネル(図)		・光林寺富札 3点	実物	
		・東日本沿岸航路図巻 1点	実物 江戸後期		<b>オ 盛岡藩の鑄銭</b>	実物	
		・本陣関札 1点	実物 江戸時代		・密鑄銭 10点	実物	
		・有壁本陣	パネル(写真) 宮城県栗原市有壁		・寛永通宝四文銭(背盛母銭) 1点	実物	
		・成田の一里塚	パネル(写真) 北上市成田	三都(江戸・大阪・ 京都)の発展は産 業の発達や交通の 整備とどのように関 係しているのだから か。	・寛永通宝四文銭(背盛鉄銭) 3点	実物	
		・陣笠 1点	実物		・抑宝母銭 2点	実物	
		<b>イ 舟運</b>	パネル(解説)		・抑宝鉄銭 1点	実物	
		・小繰舟(おぐりぶね) 1点	模型		・葛巻銭母銭 2点	実物	
		・櫓船(ひらたぶね) 1点	模型		・葛巻銭鉄銭 4点	実物	
		・千石船(せんごくぶね) 1点	模型		・栗林広穿銭 2点	実物	
		・舟溜り絵図 1点	パネル(図)	商人になったつも りで、どこの商品を	・盛岡天保銭 2点	実物	
		<b>㊨ 藩学と寺子屋</b>	パネル(解説)		・八匁銀判 1点	実物	

学習指導要領(歴史分野)	教科書(帝国書院)の学習内容	総合展示室		見学のポイント	いわて文化史展示室		見学のポイント
		資料名	内容		資料名	内容	
エ 社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを通して、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解させる。		・作人館扁額 1点	複製 江戸後期 盛岡市立仁王小学校原蔵	どこへ運ばばもうかるか考えてみよう。	テーマ3 民俗(展示替えあり)		
		・作人館の孔子像 1点	複製 江戸末期 盛岡市立仁王小学校原蔵				
		・作人館印 2点	複製 江戸後期 盛岡市立仁王小学校原蔵	江戸時代後半にはどのようにして学問や教育が盛んになったのだろうか。	民 俗		
		・官板図書 3点	実物 嘉永2年(1849)				
		・英和对訳袖珍辞書 1点	実物 慶応3年(1867)	新しい学問が発達した理由を考えてみよう。	⑩ 南部小絵馬		パネル(解説)
		・揆奮場の木製活字一式	複製 江戸後期				
		・手習い手本 5点	実物 九戸市長興寺寺子屋で使用	武士の政治が終わるまでには、どのような考えや動きがあったのだろうか。	⑪ オシラサマ		パネル(解説)
		・俳諧風雅帖 2点	実物 嘉永4年(1851)				
		・節用集 1点	実物 15世紀中頃刊行 著者不詳 国語辞書 江戸時代増補		⑫ 奥シラサマ		パネル(解説)
		・往来物 5点	実物				
		⑬ 先覚者たち	パネル(解説)		⑬ 奥シラサマ		パネル(解説・写真)
		・高野長英の書簡 1点	複製 文政11年(1828)				
		・蘭学階梯 1点	実物 江戸後期		⑭ まいりのほとけ		パネル(解説)
		・戊戌夢物語 1点	写本 天保9年(1838)				
		⑮ 維新前夜	パネル(解説)		⑮ 南部絵暦		パネル(解説)
		・会津藩追討沙汰書 1点	複製 明治元年(1868) もりおか歴史文化館原蔵				
		・檀山佐渡ほか捕縛沙汰書 1点	複製 もりおか歴史文化館原蔵		ア 田山暦		パネル(解説)
		・檀山佐渡・向井蔵人宛南部利剛感謝状 1点	実物 明治元年(1868)				
		・盛岡藩知事辞令写 1点	複製 明治2年(1869) もりおか歴史文化館原蔵		イ 盛岡暦		パネル(解説)
		・盛岡藩火縄短銃 1点	実物 江戸時代				
		・盛岡藩武庫刀 1点	実物 江戸末期		⑯ いわたの民俗		模造
		・エンフィールド銃 1点、弾丸 2点	実物 江戸末期				
		・戊辰戦争の軍曹一式	模造 慶応4年(1868)				
		古 美 術					
		⑳ 鐺			「南部角相撲」		模造
		・千田コレクション	実物				
		・元持コレクション	実物				
		㉑ 工芸					
		㉒ 刀剣					
		ア 刀剣の制作工程	パネル(写真)				
		・玉鋼 3点	実物				
		・のこぎり 1点	実物				
		・蝶番 1点	実物				
		・千歯こきの歯 5点	実物				

「オシラサマ」や「まいりのほとけ」とは何だろうか。当時の人々の信仰を考えてみよう。

暦は、いつ頃どのようにしてつくられたのだろうか。また、どうして記号と絵で表されているのだろうか考えてみよう。

学習指導要領(歴史分野)	教科書(帝国書院) の学習内容	総合展示室		見学のポイント	いわて文化史展示室		見学のポイント
		資料名	内容		資料名	内容	
		・古釘 4点 ①積沸しの準備 1式 ②折返し鍛錬 1点 ③造込み 1点 ④素延べ 1点 ⑤火造り 1点 ⑥土取り 1点 ⑦焼入れ・仕上げ 1点 イ 太刀と刀 ・太刀 1点 ㊤ 絵画	実物 実物 実物 実物 実物 実物 実物 パネル(解説) 実物 平成7年2月 盛岡市				